

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
パ	細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1		名護市特色ある教育環境整備事業	H24~H33	/		/		
	①	学習指導支援者配置事業	H24~H33	児童生徒の学力向上のために、学習指導支援者を配置し、授業にあたる教師と連携を図りながら児童生徒の支援を行うことで教育環境の充実を図る。算数に課題を抱える小学校(4校)に学習指導支援者5名を配置し、主に3・4年生の算数の学習支援を行う。	学習指導支援者配置数 小学校:5人	支援児童数(小学校4校の3・4年生):580人	(今後の展開方針) ・学習指導支援者の効果的配置の検討	
	②	生徒指導支援者配置事業	H24~H33	個別の指導や相談を必要とする不登校児童生徒に対応するため、教職員を補佐し、継続的な支援活動や様々な体験活動を通じた個別指導を行う生徒指導支援者を小・中学校へ配置し、児童生徒の自己存在感を育み、自立するための支援体制を構築することで教育環境を充実させ、基礎学力等の向上を図る。	生徒指導支援者配置数 中学校:5人	当該事業でサポートした児童生徒のうち、学校復帰など改善がみられた人数:5人	(今後の展開方針) ・生徒指導支援者の効果的配置の検討	
	③	小中学校英語支援員配置事業	H24~H33	小・中学校の英語を中心とした外国語活動の授業における指導補助、教材作成や英語スピーチコンテスト等の指導補助として、各小・中学校に小中学校英語支援員を配置することで教育環境の充実を図り、児童生徒の国際理解やコミュニケーション能力、基礎学力等の向上に繋げる。	英語支援員の配置数:8人	支援児童数(小学校):1,439人 支援生徒数(中学校):2,202人 計:3,641人	(今後の展開方針) ・小中学校英語支援員の効果的配置の検討	
	④	中学生海外短期留学派遣事業	H24~H33	小さな世界都市をめざす本市の中学生を英語圏に短期間派遣し、英語を学ぶことへの関心・意欲を高め、視野を広げるとともに国際感覚豊かな人材育成を目指す。	応募人数:8校×5人=40人 派遣生徒選考人数:12人	海外短期留学派遣生徒数:12人	(今後の展開方針) ・海外短期留学派遣生徒数(累計) H33年度120人 ・現地学習プログラムの充実	
	⑤	適応指導教室支援員配置事業	H24~H33	適応指導教室に支援員を配置し、不登校児童生徒の個々の状況に応じた体験活動や学習指導、教育相談等の支援活動を行うとともに、人間関係の改善と児童生徒の自立心を高め、社会性を身につけさせることで、学校生活への適応を図り、学校復帰を支援する。	適応指導教室支援員配置数:5人	当該事業でサポートした児童生徒のうち、学校生活への適応や学校復帰等の面で改善がみられた人数:6人	(今後の展開方針) ・適応指導教室支援員の効果的な配置の検討	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
パ	細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
	⑥	名護市児童生徒等の県外派遣等に関する補助金交付事業	H24～H33	小・中学校の児童生徒等や県立高等学校及び高等専門学校が生徒が、県外で開催される運動競技会又は文化関係大会に参加する際の派遣費用を補助する。	大会等派遣生徒数：80人	大会等派遣生徒数 H25年度：80人	(今後の展開方針) 大会等派遣生徒数(累計) H33年度：800人	
2		名護市地場産業の活性化及び6次産業推進事業	H24～H26					
	①	農産物6次産業化支援拠点施設整備事業(アグリパーク)	H24～H26	名護市の農家所得の減少、就農者数の減少、農産物全体の粗生産額の著しい低下等の課題解決を目的に、6次産業化と観光とを融合したアグリパークを整備する。	観光農園施設の敷地造成設計、土質調査、建築設計等及び土木工事並びに建築工事の実施	観光農園施設の敷地造成設計、土質調査、建築設計等及び土木工事並びに建築工事の実施	(今後の展開方針) H26年度：供用開始	
	②	羽地地域直売加工施設整備事業	H24～H25	羽地地域に農産物、畜産物、水産物等の直売加工施設を整備し、生産者の所得向上及び生産意欲向上による担い手の確保や新規雇用効果により、同地域の経済・産業の活性化を促進する。	敷地造成及び直売加工施設の建築	敷地造成の実施及び直売加工施設建築の実施	(今後の展開方針) H26年度：供用開始	
	③	名護市堆肥センター機能高度化施設整備事業	H25～H26	堆肥の活用による田畑の土づくりや、家畜の糞尿処理などの環境保全により、畜産業等と地域との調和を保ち農産物の生産向上に寄与する名護市堆肥センターを整備する。	基本設計及び実施設計の実施	基本設計及び実施設計の実施	(今後の展開方針) H26年度：造成工事、建設工事、施工管理、備品購入	

H25活動目標(指標)：平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H25成果目標(指標)：平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

名護市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H25活動目標(指標)	今後の展開方針等			
3	名護市地域資源と地域特性を生かした観光基盤整備事業	H24～H33						
①	ファイターズ・キャンプ支援事業	H24～H33	北海道日本ハムファイターズのキャンプ期間中における、駐車場の確保、球場までのシャトルバスの運行、球場周辺等に警備員・誘導員を配置し、見学者並びに車両を安全スムーズに誘導する。また、札幌ドームにて「名護デー」イベントを開催し、キャンプ見学者の誘致を図る。	プロ野球キャンプ見学者等の誘導・安全確保及び見学者の誘致。	プロ野球キャンプ見学者数 ・H25年度: 20,000人 (基準値: H24年度17,799人)	(今後の展開) H26～33年度: ・駐車場確保 ・シャトルバス運行 ・警備員、誘導員配置 H26～28年度: ・「名護デー」開催 H26～28年度: ・少年野球チーム交流		
②	轟の滝周辺整備事業	H24～H27	貴重な文化財である轟の滝の豊かな自然環境を保全・活用し、やすらぎと潤いある自然空間の実現に向けた整備を行い、魅力ある観光スポットとして、まちの活性化、観光振興に繋げる。	・用地測量 1件 ・用地買収 10筆 ・補償設計 1件 ・物件補償 1件	・用地測量 1件 ・用地買収 10筆 ・補償設計 1件 ・物件補償 1件	(今後の展開方針) H25～26年度: 用地測量、用地買収、補償設計、物件補償 H26～27年度: 周辺整備 H28年度: 供用開始		
③	名護さくらのまち推進事業	H24～H25	名護さくら祭り会場となる名護城(ナングスク)及びその近隣の緑道並びに観光資源となっている勝山(安和岳、嘉津宇岳、八重岳)へのアクセス道路に桜を植樹し、桜であふれる景観づくりを行い観光資源として活用する。	名護城跡地周辺の桜400本の開花促進のため、桜の健康度調査に基づく土壌改良の実施	名護城跡地周辺の桜400本の開花促進のため、桜の健康度調査に基づく土壌改良の実施			
④	(仮称)やんばる広域物産交流センター等整備基本計画策定事業	H25	平成21年度に整備された「名護漁港水産物直販所」と連携し、名護漁港を利活用した北部の農産物や特産品の販売による観光振興を目的とした「やんばる広域物産交流センター」整備を検討するための基本計画を策定する。	(仮称)やんばる広域物産交流センター等整備基本計画策定(物産センター必要機能の設定)	(仮称)やんばる広域物産交流センター等整備基本計画策定(物産センター必要機能の設定)	(今後の展開方針) H26年度以降: 建設工事		
⑤	市内安全対策防犯カメラ設置事業	H25	本市及びやんばる地域への観光客等の安全安心確保のため、市内の観光地に防犯カメラを設置する。	市内の観光地(飲食街)への補助件数: 1団体	観光地(飲食街)への防犯カメラ補助件数: 1件			

H25活動目標(指標): 平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標): 平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

名護市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H25活動目標(指標)	今後の展開方針等			
⑥	名護市特産品販路拡大支援事業	H25～H27	特産品の販路拡大のため、商品改良(品質表示、加工技術等)、商談会、展示会、販路開拓を実施し、地場産業の育成と観光産業の活性化を図っていく。	物産展の開催: 3回	物産展の来場者数: 2,550人 物産展の売上高: 2,550千円	(今後の展開方針) H26～H27年度: 商品改良(品質表示等)、名護市フェア一、物産展等の開催等		
⑦	観光情報発信事業	H25～H27	観光地としてのコンセプトを明確に打ち出した観光宣伝ツールの作成、広告宣伝(マスメディア、イベント等)、セールス誘致活動を行い観光情報発信力を強化し観光客の誘致拡大を目指す。	観光宣伝物の作成(秋、冬版) ①ポスター 500部 ②パンフレット 6,000部 ③映像(DVD) 100枚	観光宣伝物の作成(秋、冬版) ①ポスター 500部 ②パンフレット 6,000部 ③映像(DVD) 100枚	(今後の展開方針) H26年度: 観光宣伝物作成(春、夏) 広告宣伝 セールス活動 H27年度: 広告宣伝 セールス活動		
⑧	嵐山地域周辺整備に係る調査事業	H25	羽地内海が見渡せる絶景スポットである嵐山地域を新たに観光エリアとして整備するにあたり、完成後の運営ランニングコスト、集客のシュミレーション等を調査し実効性の高い整備計画を作成する。	嵐山地域周辺整備に係る調査及び基本設計の実施(嵐山地域基礎調査、事業効果の検討(集客可能性調査)、整備コスト、ランニングコストの検討、関連動向を踏まえた基礎設計)	嵐山地域周辺整備に係る調査及び基本設計の実施(嵐山地域基礎調査、事業効果の検討(集客可能性調査)、整備コスト、ランニングコストの検討、関連動向を踏まえた基礎設計)	(今後の展開方針) H26年度: 建設工事 H27年度: 供用開始		
⑨	真喜屋運動広場整備事業	H24～H27	真喜屋運動広場において様々なスポーツが快適かつ安全に行えるよう拡張整備を実施し、スポーツコンベンションの開催や、合宿利用等にも対応できるよう多目的広場としての利用環境を改善する。	県資材ヤード代替地の測量及び造成工事	県資材ヤード代替地の測量及び造成工事	(今後の展開方針) H26年度: 実施設計 H27年度: 整備工事 H28年度: 供用開始		
⑩	名護市営市場機能強化整備事業	H25～H26	観光施設としての機能を強化することにより、名護中心市街地の「にぎわい」回復に資するため、イベント対応天幕、周辺商店街への連絡通路、大型モニター等の整備を実施し、市営市場及び観光施策が抱える課題の解決を図る。	実施設計: 1件	整備工事に係る実施設計完了: 1件	(今後の展開方針) 平成26年度: 整備工事(1件) ・渡り廊下 ・パティオ屋根 ・前広場雨除け ・植栽 等	10月変更(事業追加)	
⑪	名護市ICT利活用モデル事業「WiFi化計画」	H25～H28	名護市役所周辺に無料公衆無線LAN環境を構築し、名護市の情報配信など、ICTを活用し、外国人を含む観光客等の来訪者への対応、まちあるき観光等の情報発信を促進するモデル事業を実施する。	WiFi化に係る調査及び計画策定	WiFi化に係る調査及び計画策定(ネットワーク調査、構築手法等の基本計画の策定)完了	(今後の展開方針) H26年度: 庁舎周辺のWiFi化整備、サービス開始 H27年度、H28年度: 市街地周辺のWiFi化整備、サービス開始	10月変更(事業追加)	

H25活動目標(指標): 平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H25成果目標(指標): 平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
パ	細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
4		名護市安全・安心のまちづくり事業	H24～H26					
	①	行政区単位版ハザードマップ作成事業	H24～H26	暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、津波、地すべり等の各種災害から市民等の被害を軽減するため行政区単位版ハザードマップを作成する。 (H24年度:5地区(9行政区)、H25年度:23行政区、H26年度:23行政区、名護市全体で55行政区)	ハザードマップ作成数:23行政区分	ハザードマップ作成数:23行政区分	(今後の展開方針) H26年度:23行政区分 (H25年度は、津波及び高潮の被害を特に受けやすい沿岸部のハザードマップを優先して作成し、H26年度は内陸部23行政区分を作成する。)	
	②	テレビ共同受信施設ケーブル張替え事業	H25	災害時に必要な情報が取得できるよう難視聴解消施設の耐用年数を過ぎたテレビケーブルを更新し、共同受信施設の受信障害を未然に防ぐ。	耐用年数が過ぎたケーブルの更新:6施設	経年劣化によるケーブル断線の発生件数:0件		
5		名護市自転車まちづくり推進事業	H24～H27	温室効果ガスの排出削減による低炭素社会の構築を目指し、良好な「環境」の創出に寄与する「自転車まちづくり」を推進するため、自転車のモデルレーン(自転車指導レーン)整備を実施する。	自転車レーンの整備:720m	自転車のレーンの整備:720m	(今後の展開方針) H26年度:自転車レーンの整備(900m)H27年度:自転車レーンの整備(640m)	
6		名護市雇用創出・企業誘致促進事業	H24～H25					
	①	金融・情報特区企業招聘セミナー等広報イベント事業	H24～H25	金融・情報通信関連企業の立地による雇用創出や定住人口増加の基盤となるまちづくりや人材育成・就労支援等を効果的に推進するため、企業招聘セミナーなどの広報イベント・誘致活動を実施し、金融・情報関連企業の誘致を促進する。	金融・情報通信関連企業の経営者等の招致:15人	金融・情報通信関連企業の経営者等の招致:15人	(今後の展開方針) H26年度:企業招聘セミナー開催、パンフレット作成、国内外での広報活動	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
パ	細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
	②	企業立地戦略策定事業	H25	就業率向上に向けた企業誘致を促進するため、屋部地区工場適地の条件分析及び市内・県内等の企業立地条件整理を行い、企業誘致活動プログラムを策定する。	企業立地戦略の策定 (整備手法・助成制度・誘致活動手法等の基本方針の策定)	企業立地戦略の策定 (整備手法・助成制度・誘致活動手法等の基本方針の策定)	(今後の展開方針) H26年度以降、本事業の成果を基に、企業誘致活動を促進	
	③	豊原地区光ケーブル地中化事業	H25	台風等の自然災害時においても安定した通信環境を維持するため、国道329号線の情報ボックスから名護市マルチメディア館、みらい1号館、みらい2号館、みらい3号館までの光ファイバの地中管路による接続を実施し(通信網(光ファイバ、電話線)の地中化)、企業の事業継続に寄与する。	名護市マルチメディア館 みらい1号館 みらい2号館 みらい3号館 の計4施設について、通信回線の地中化を実施。	名護市マルチメディア館 みらい1号館 みらい2号館 みらい3号館 の計4施設について、通信回線の地中化を実施。 整備：L=約800m	(今後の展開方針) みらい3号館からみらい4号館まで、通信回線の地中化を行う。 整備：L=約1000m	
	④	金融・IT産業等基盤施設等機能強化事業	H25	雇用拡大による産業振興及び地域活性化を図るため、既存の基盤施設の機能強化(無停電装置設置、入退室システム設置、トイレ・シャワー室の改修工事、倉庫設置、駐車場増設、PC購入、ブース分割)を実施するとともに、キャリア教育向けパンフレット及び広報DVDを作成する。	・名護市マルチメディア館改修 ・名護市マルチメディア館駐車場増設 ・みらい1号館改修 ・マルチメディア館、みらい1号館、みらい3号館のUPS設備設置実施設計 ・キャリア教育用パンフ・DVD作成	・名護市マルチメディア館改修 就業者数に対し適切なトイレの設置数：14器 (基準値：H24：12器) 入退室システムの設置によるFISCセキュリティ基準のクリア 駐車場増設による駐車台数：417台 (基準値：H24：217台) ・みらい1号館改修 ブース分割による入居可能企業数：10社 (基準値：H24：1社) ・マルチメディア館、みらい1号館、みらい3号館のUPS設備設置実施設計 ・キャリア教育用パンフ・DVD作成 市内学生(小学校高学年・中学生・高校生)へのパンフレットの配布：約6,000名 キャリア教育講座の実施：26校(小中高)	(今後の展開方針) ・マルチメディア館、みらい1号館、みらい3号館のUPS設備設置工事を行い、停電時の事業継続を可能にする。 ・継続してキャリア教育を実施し、各年代の就業観や就業意識の更なる醸成を図る。	
	⑤	豊原地区養鶏場跡地利用整備計画策定事業	H25	更なる企業誘致、安定した就業の場の確保のため、金融・情報特区に相応しい就業施設の更なる充実を図る必要がある。そのため、移転の計画がある養鶏場跡地について地域の活性化を実現するための計画づくりを実施する	・養鶏場跡地利用計画策定 ・館内道路概略設計 ・みらい5号館概略設計 ・みらい5号館造成基本設計	・養鶏場跡地利用計画策定 ・館内道路概略設計 ・みらい5号館概略設計 ・みらい5号館造成基本設計	(今後の展開方針) 沖縄北部連携促進特別振興事業を活用し、当該事業で計画した施設整備を行っていく。 H26年度：みらい5号館造成実施設計 H27年度：みらい5号館造成工事、建築実施設計 H28年度：みらい5号館建築工事、外構工事	

H25活動目標(指標)：平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標)：平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
パ	細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
7		名護市地域力発信交流拠点施設整備事業(運天原)	H25~H26	近年盛んな沖縄観光の目玉である「芸能」や「食」の発信・交流の拠点になるとともに、エイサー等の練習や特産品開発など、地域の産業・文化・生活を活性化・再生する拠点となる施設を整備する。	建築設計及び土質調査の実施	建築設計及び土質調査の実施	(今後の展開方針) H26年度:建設工事着手 H27年度以降:供用開始	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。
 H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。